



# 関西支部報

http://www.jackansai.com

日本山岳会関西支部80周年記念事業

## ナンガマリⅡ峰(6,209m)初登頂

東ネパール登山隊2016

### ナンガマリ登山を終えて

東ネパール登山隊2016隊長 重廣恒夫

今回のナンガマリ登山は、モンスーン明けが年々遅くなっていること、予定より低い場所にベースキャンプ・C1・C2を設けざるを得なかったこと、高度障害などで2名の隊員をカトマンズまで降ろしたことから、期日ギリギリの登頂となってしまいました。

10月11日、「13日C2移動、15日Ⅱ峰登頂・C3建設、17日Ⅰ峰への縦走・登頂」の計画を発表。しかし、夜半からの降雪で12日は休養日となりました。13日、ルート工作隊と荷上隊に別れて行動しましたが、隊員の疲労も激しいため全員登頂のために14日のC2移動を諦め、休養日とせざるを得ませんでした。そして「15日C2建設、16日Ⅱ峰、18日Ⅰ峰登頂」の最終計画を発表しました。

16日はコル下への到着が遅れ、好天による昇温で雪崩発生懸念もあり登頂を断念せざるを得ませんでした。この時点でⅡ峰の初登頂のみに絞り込み、24時起床、2

時出発、岩壁下6時、コル8時、Ⅱ峰頂上到着11時、15時帰幕という行動予定を隊員に伝えました。

17日はコル(5990m)までは予定時間内に到着しました。その後、西面ゆえ夜明け前の冷え込みもあってスピードが落ちてきましたが、的確なルートファインディング、適切なロープやスノーバーの補充などで12時37分(日本時間15時52分)にⅡ峰の頂に全員が到達し、元気に帰国することができました。

会員の皆様には多大なご支援・ご声援をいただき有難うございました。



左のピークがナンガマリⅡ峰 写真提供：重廣恒夫

### 目次

日本山岳会関西支部80周年記念事業

ナンガマリ登山を終えて 重廣恒夫…1

登山隊行動概略 ……2

登頂を祝して ……4

関西支部と私 ……塚崎義人…7

支部山行報告 ……

熊野古道伊勢路シリーズ1 ……岩崎しのぶ…8

関西支部県境縦走44 ……新本政子…8

4000山グランプリ ……森山宏昭…9

熊野古道伊勢路シリーズ2 ……黒田守彦…10

しつかり歩こう ……水谷透…10

ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を ……小林三喜男…11

訪ねる35 ……小黒節郎…12

しつかり歩こう ……

「本山寺山森林づくりの会」活動報告 ……

藤木祭報告 ……桑田結…14

自己紹介(皆さんよろしく) ……居谷千春/小黒節郎…14

会務報告 ……

第3回委員会議事録 ……14

新入会員・会友紹介 ……16

ルーム日録 ……16

受贈一覧 ……16

支部山行計画 17年1月～3月 ……17

自然保護行事 17年1月～3月 ……19

編集後記 ……19

## 登山隊行動概略

### 9月9日(金)晴

関空9時30分発。仁川経由でカトマンズへ。モンスーンの影響か、上空からヒマラヤ見えず。現地時間18時8分ホテルにチェックイン。

### 9月13日(火)曇・時々晴

カトマンズ=イタハリ

6時35分カトマンズ出発。隊員10人、スタッフ10人と77個(約2.5屯)の荷物を載せたチャーターバスは、ナウピセを経由してアムレカンジから東へ走る。渋滞や随所で行われる検問で遅れ、22時半を過ぎて夕食にありつく。

### 9月14日(水)曇後晴

イタハリ=タプレジュン(1,820m)

5時17分に出発。標高差が1,000m程ある峠を4つも越える。18時過ぎに最後の峠を下り、タムール川に架かる橋を渡ったところで前に行く車が土石流で脆弱になった轍にハマりストップ。20時20分タプレジュン到着。

### 9月15日(木)晴

タプレジュン(キャラバン準備)

### 9月16日(金)晴・夜半雨

タプレジュン~ミトルン(921m)

### 9月17日(土)曇時々雨・夜半雨

ミトルン~チルワ(1,270m)

### 9月18日(日)曇後雨

チルワ~セカトム(1,576m)

### 9月19日(月)曇後晴後雨

セカトム~アムジラッサ(2,308m)

### 9月20日(火)晴後雨後曇・夜半雨

アムジラッサ~ギャブラ(2,730m)

### 9月21日(水)雨

ギャブラ~グンサ(3,595m)

### 9月22日(木)晴時々雨

グンサ(休養日)

### 9月23日(金)晴

グンサ~ナンゴー・ラ下のカルカ(4,160m)

久しぶりに晴。ヤンマサンバ・コーラに架かる橋の手前でナンゴー・ラ

への道に入る。峠手前のカルカ(ナンゴーラキャンプ)でキャンプ。

### 9月24日(土)曇時々雨

カルカ~マルソン・ラ下のキャンプ地(4,700m)

雪のナンゴー・ラ(4,776m)を越え、さらに北に向かいマルソン・ラ(4,925m)を越える。17時30分キャンプ地到着。夜半に雨は雪に変わる。

### 9月25日(日)雪後雨

キャンプ地~ヌブ対岸(3,990m)

雪の降る中を北に向かう。パルーラ・バンジャン(4,730m)を越えてルートを見失う。GPSを頼りにヤンマ・コーラの谷筋に下りヌブ(4,000m)に向かう。途中で雪は雨に変わり、終日止まず。

### 9月26日(月)晴一時雨

ヌブ対岸~ヤンマ・キャンプ地(4,170m)

待望のナンガマリⅡ峰が見えた。のんびりとヤンマ(4,200m)に向かう。

### 9月27日(火)晴

ヤンマ(休養日)

先日来の雪でヤクが進めないため休養。偵察隊出動。

### 9月28日(水)曇時々雨後曇

ヤンマ~チェチェポカリ・カルカ(4,600m)

谷沿いにナンガマポカリへは入れず。チェチェポカリを見下ろす峠から、北の尾根に取付き100mの標高差を登って西進し、平らな尾根の途中のカルカに到達。偵察隊派遣。

### 9月29日(木)曇時々雨

カルカ~BC(4,800m)

キャンプ地から急な斜面をひと登りした台地から二重山稜の尾根を北東に進む。4,860m地点から15分ほど下り、ナンガマポカリよへ流れる谷が形成した段丘の緑の台地をベースキャンプとする。

### 9月30日(金)晴時々曇

BC(休養日)

開村式後、登攀具の整備、露営用具の準備、食料の仕分けを行う。BCの標高が計画より低くなったのでキ

ャンプをひとつ追加することとした。

### 10月1日(土)晴後雨

BC~C1(5,050m)

C1予定地(5,180m)へ荷上開始。5,209m付近の小さな湖下手に隊荷を集結。2014年の登山隊跡か、竹竿やサンダルが落ちていた。帰路、ナンガマポカリの湖岸に向けて下る。荷上や生活の利便性が高い場所があったので、こちらをC1とする。

### 10月2日(日)晴後霰・曇・小雨

BC~C1~大岩

一人10kgをC1へ荷上。テント2張り設営後、岩井・加藤はサーダーのラムカジと上部偵察。大岩(5,282m)まで到達。岩井・加藤・重廣C1に泊まる。

### 10月3日(月)晴

BC~C1~大岩~上部偵察

BCから7名荷上。岩井体調不良でC1滞在。重廣・加藤とサーダーで大岩までの荷上と上部偵察。大岩からの上部岩場はクラックなど利用。2014年隊の痕跡か、所々にケルン。雪原帯に届かず、5,448mでBCに下る。

### 10月4日(火)曇後晴

BC(休養日)

個人装備・共同装備・食料など調整。今後はC1がBCの役割を担う。

### 10月5日(水)曇後晴・小雪

BC~C1

体調を崩した岩井・松伸をBCに残し、他の8名で13~20kgの荷物をC1に移動。個人用テント5張設営。

### 10月6日(木)曇後晴・夜半小雪

C1~大岩~C2ルート工作

重廣・森本は先日の偵察最高点までフィックス工作。他の隊員は大岩まで荷上。

岩井・松伸は体調回復のためヤンマに下りたいと申出。立野・茂木はBCに下り、医薬品を手配して2人を送り出しC1に戻る。ヤンマへはポーター2名同行。

### 10月7日(金)曇後晴

C1~大岩~C2ルート工作

5,547mまでのフィックス工作と大

岩までの荷上。

ヤンマの休養組、回復芳しくなくヘリコプターを要請。

**10月8日(土)晴後曇後雨**

C1～5,547m荷上

重廣・サーダー、ヤンマへ下る。

荷上組は、疲労の色濃い立野に付き添いC1に長瀬・森本が留まる。加藤・黒田・竹中・茂木は、BCに下る。

**10月9日(日)雨後曇**

C1～BC

朝食前にC1の3人BCに戻り、荷上組休養。ヘリコプター9時12分ヤンマ着。岩井・松仲を載せて同15分にカトマンズに飛び立つ。ヘリコプターを見送って重廣・サーダー、BCに戻る。

**10月10日(月)晴**

BC(休養日)

朝、一面の銀世界。C1への移動準備。

**10月11日(火)晴**

BC～C1

留守本部に「15日II峰、17日I峰登頂」のスケジュールを伝える。

**10月12日(水)雪後晴**

C1(停滞・休養日)

昨夕から降雪続き5時30分停滞決定。ラサの天気予報は14日から18日まで晴天とのこと。カトマンズの岩井に登山隊復帰確認。降雪は12時過ぎまで、その後薄曇りから陽が射しだし13時50分には強烈な日差しになる。留守本部に「16日II峰、18日I峰登頂」のスケジュールを伝える。

**10月13日(木)曇後小雪**

C1～C2予定地ルート工作

重廣・森本、C2予定地までの岩場のルート工作で先行。荷上隊が続く。ルート工作組は、13時50分標高5,500mのC2予定地付近までフィックス工作。荷上隊は5,450mに荷物デポ。C1帰着19時20分。多くの隊員の疲労が激しいため、明日は休養日とする。岩井ヘリコプターでヤンマに戻り、BCに帰着。

**10月14日(金)快晴**

C1(休養日)

朝から天気良く降り積もった雪が融解。岩井10時頃C1到着。「15日C2移動、16日II峰(9人)、18日I峰(4人)登頂」の最終計画発表。

**10月15日(土)快晴**

C1～C2(5,580m)

岩井・竹中・森本とサーダー、C2建設。デポ地の荷物をC2へ荷上。松仲カトマンズから帰国。

**10月16日(日)快晴**

C2～5,880m地点

5時20分、C2出発。フィックス工作しながら進む。9時44分、I峰寄りの岩壁下に到着。気温上昇のため、雪崩の危険ありC2に戻る。I峰への縦走断念、II峰の全員登頂に方針変更。帰路のポーター手配のためサーダー、BCに下る。

**10月17日(月)晴後曇**

C2～II峰(6,209m)登頂

24時起床、2時10分出発。前日のトレースを辿り岩壁下へ。岩井・竹中・森本を先頭に、フィックス工作をしながら進みコルに出る。岩井・森本が交互にフィックス工作を繰り返し、重廣・竹中はルート指示とルート工作装備を補充、他の隊員はそれに続く。12時過ぎ、森本が頂上稜線に到達。ナイフリッジの細長い頂上のため岩井がさらに10mほど進み、12時37分全員頂稜に集結、記念写真撮影。昼前から雲に包まれ頂上からの展望なし。17時35分全員C2に帰着。



**10月18日(火)晴**

C2～BC

C2でII峰バックに記念撮影。15時過ぎBCに帰着。

**10月19・20日(水・木)晴**

BC(隊荷整理)

**10月21日(金)晴**

BC～ヤンマ

**10月22日(土)晴後曇**

ヤンマ～ヤンマコーラ・カルカ(4,450m)

**10月23日(日)晴**

ヤンマコーラ・カルカ～ナンゴー・ラ北のカルカ(4,410m)

**10月24日(月)晴後曇**

ナンゴー・ラ北のカルカ～ゲンサ



ナンガマリが良く見えるナンゴー・ラ西尾根の台地にケルンを積み(高さ1.5m)、大西保氏と住吉仙也氏の遺

骨を収める。

**10月25日(火)晴**

ゲンサ～セレレ・キャンプ(4,210m)

**10月26日(水)晴**

セレレ・キャンプ～ツェーラム(3,870m)

**10月27日(木)晴**

ツェーラム～トルトン(2,995m)

**10月28日(金)晴**

トルトン～ヤンプディン手前(2,050m)

**10月29日(土)晴**

ヤンプディン手前～ママンケ(1,785m)

**10月30日(日)晴**

ママンケ～カンデバンジャン手前(2,100m)

**10月31日(月)晴**

カンデバンジャン手前～ラリカルカ(2,265m)

**11月1日(火)晴**

ラリカルカ～タブレジュン

**11月2日(水)晴**

タブレジュン＝ウルラバリ

**11月3日(木)晴**

ウルラバリ＝カトマンズ

**11月7日(月)晴**

カトマンズ発20時30分、帰国の途につく。

**11月8日(火)曇**

10時40分関西国際空港に到着。12時過ぎ解散。

(重廣恒夫「ヒマラヤ通信」より)

## 多くのご支援に感謝します

支部長 金井良碩

この度の、カンチェンジュンガ山群ナンガマリⅡ峰初登頂の快挙は、関西支部の喜びの極みであります。重廣恒夫隊長はじめ、登山隊の皆さんのご尽力に敬意を表する次第です。ある程度、想定内ではあったかもしれませんが、数々のハプニングをものともせず、重廣隊長の強いリーダーシップのもとに、これら難関を乗り越えられた、隊員各位の皆さんのご健闘を讃えたいと存じます。

あわせて、関西支部80周年記念事業に対する募金にに応じていただきました関西支部会員はもとより、全国各地からお寄せいただきましたご厚意に改めて厚く感謝申し上げます。記念誌の発刊、記念式典の開催、そして今回の記念海外登山の成功など、関西支部80周年記念事業を順調に進めることができましたのも、ひとえにこれらご支援のたまものとお礼申し上げます。

関西支部は、これらの激励を糧に、今後新たな10年に向かって進んでまいりますので、引き続きのご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

## ナンガマリⅡ峰登頂を祝して

井上達男

関西支部設立80周年記念海外登山、なによりもまずは全員無事に帰国されたことに安堵しております。そしてナンガマリⅡ峰6209mの初登頂、おめでとうございます。Ⅰ峰への縦走計画は断念されましたが、未踏峰に全員登頂されたことに心からお祝いしたいと思います。逐次送られてくる現地の様子には同じ、遠征経験者として情景が手に取るように理解でき、陰ながら興奮しつつ応援させてもらいました。



岩壁を登る 写真提供：重廣恒夫

計画発案者の故大西保氏のご逝去、登攀隊長予定者の体調不良による不参加に加えてネパール大地震の発生など、数々の困難を乗り越えての船出。また、ヒマラヤ経験のない隊員たちのトレーニングとパーティシップ構築のための研究や準備活動など重廣隊長のご苦労は計り知れません。

米国で135年以上続いているアパラチア山岳会の会誌「Appalachia」に編集者が「昨今のクライマーは名もない知らない山には興味がない。」と批判を述べていましたが、このたびの遠征は「山を見つけ、登路を研究し、参加者全員で作りに上げて実行した」もので、その初登頂は称賛に値します。

良い経験をされた隊員方々のこれからのご健闘を祈念いたします。

## ナンガマリⅡ峰の初登頂おめでとうございます

内田昌子

一時は、時間不足になるのではと心配しましたが、隊長の好判断で処女峰に全員で登頂されましたこと、お見事でした。この初登頂の感動が後に続く若い会員に引き継がれたことは、素晴らしいことだと思います。また、ナンガマリからの遠望、エベレストやマカルーに続く峰々は、普段あまり見ることはない景観だけに興味があり、報告会楽しみにしています。

## ナンガマリⅡ峰初登頂おめでとうございます

城 隆嗣

隊員の皆さまが無事帰国されましたこと心から安堵いたしました。重廣隊長お疲れ様でした。

初めての山、ルート探索から荷揚げ、登攀をこなさなければいけない難しさ、それも高所でのこと。隊員の皆さまはいい経験をされたものと察します。そして、もっとも重要なことは、今回の登山に参加できたのは自分一人の力ではなく周囲の多くの支えがあったからであることを忘れてはなりません。今後、海外登山に行く機会がありましたら、今回の登山を参考にして頂きたく思います。

最後に私なりの海外登山に対する考えは、一に体力、二に体力、三に体力。四に経験、五に技術であると思います。ご苦労様でした。

## 重廣隊長、隊員の皆様 お帰りなさい！

高木 稔

ナンガマリⅡ峰初登頂成功！！ おめでとうございます。登頂時の瞬間には、それまでのご苦労、努力等々全

てが吹っ飛んだ事でしょう。

重廣隊長に於かれましては、計画から準備、登山活動に至るまで沈着冷静、有言実行、素晴らしいリーダーシップを発揮され、成功に導かれた事、正に日本山岳会の第一人者であることを改めて証明されました。

スノーリッジ上の狭い頂上での記念写真は、写すのが難しかった様ですね。しかし、ベースキャンプに戻ってからの集合写真の皆さんの晴れやかな顔！！“満足感”“充実感”未登の山に大きな足跡を残されました。本当に嬉しく思います。

当初の計画でのナンガマリⅠ峰への縦走は、天候、期間等の問題により断念したとの事ですが、天候だけは時の運、何よりも皆様が無事で初登頂の喜びを分かち合えた事が一番のお土産だと思います。皆様お疲れ様でした。

隊員の皆様に於かれましては、このご経験を基に更なるご活躍されます様、期待しています。

私事になりますが、計画途中でリタイアし誠に申し訳ありませんでした。2015年12月24日夕方より胆石が胆管に詰まり全身黄疸のため緊急入院、31日退院。2016年1月18日再入院、胆のう摘出手術、25日退院。Dr.曰く「二か月は激しい運動はダメです」今にして思えば、このタイミングによって登山隊にご迷惑をかけなくて良かったと思っています。

## 登頂成功を祝う

平井一正

日本山岳会関西支部の東ネパール登山隊の、ナンガマリⅡ峰の初登頂成功を心からお祝い申し上げます。重廣隊長以下9人が6,209mの頂上に達したことは、年齢などを考えると快挙と言えましょう。長いキャラバンに加え、多くの障害を乗り越えて勝ち取った勝利は、ひとえに全員のチームワークにあり、それをまとめた重廣隊長のリーダーシップにあると思います。関西支部設立80周年にふさわしい行事として誇るべきことでありましょう。重廣隊長の登山歴にまた輝かしい1頁が加わりましたことお喜び申し上げます。

この成功が一発花火に終わらないよう、若い人がさらなるヒマラヤ登山に情熱をそそぎ、それがますますの支部の発展に続くことを祈ります。

## 初登頂、祝意

平林克敏

ナンガマリ(Nangamari)Ⅱ峰初登頂、誠におめでとうございます。絶賛です。



6000mのCOLからⅡ峰を望む 写真提供：茂木完治

ご成功に至る過程では、数え切れないほどのご努力、ご苦労があったことと存じます。今度の隊編成は「ヒマラヤに登ってみたい」と心から願う当会員各位の熱き思いがナンガマリに向け結集し、積み重ねてきた結果によるものです。

ヒマラヤ登山未経験者の多い隊員達が、基礎技術を学び、雪上訓練からザイルワークに至るまで、あれほど厳しい長期の訓練を積んできたとは知りませんでした。この隊を束ね、見事なリーダーシップを発揮し、全員登頂に導いた重廣恒夫隊長は、余人をもって替えがたい世界的なリーダーでありますから、この隊を派遣する当初から何一つ心配はありませんでしたが、隊員達とあまりにも異なる隊長との乖離を私は心配しておりました。しかし、「行きたいという心意気が、あらゆる障害を乗り越えて、人を高みへと誘う」とする登山を志す人の信念がそこにある限り、必ずやり遂げるといふ隊員達の強い意思を束ねた隊長と、隊員達の飽くことなく求め続けた挑戦がこの度の初登頂を成し遂げたものであります。隊長はじめ、全隊員の皆様のご努力に心よりお祝い申し上げます。

また、この遠征隊を派遣した関係者の皆様と共に関西支部80周年事業の成功を喜び、誇りとします。

## 祝 ナンガマリⅡ登頂

宗實慶子

関西国際空港を出発された時よりも皆さんたくましく元気に11月8日にお帰りでした。

衛星通信で現状を刻々と知ることができてまして楽しいでした。一昔前のメールランナー時代を思うと隔世の感がありました。報告会がまたれます。

ナンガマリ登山計画から数年を共にされた若い方たち、次世代を引っ張ってください。

## ナンガマリⅡ峰初登頂を祝う

米本隆夫

重廣隊長はじめ隊員の皆さまに心からお祝いを申し上げます。また、本隊を関西支部80周年記念遠征隊として送り出された金井良碩支部長様はじめ、ご関係者のみなさまに心からのお祝いと敬意を表します。

この隊は、隊長を除くと海外への登山をほとんど未経験のみなさんが、しかも60歳以上の方も複数参加されました。そして、酸素の希薄な6000mを越える未知の頂に全員揃って、初めての足跡を残し、そして無事にお帰りになられたことは、大変な快挙です。

今回の遠征の成功は、他の日本山岳会支部の意欲ある皆さまの心を揺さぶる成果です。登山のもつ普遍的な価値である未知への挑戦には、およそ年齢は関係ないことを証明してくれました。若い隊員たちに混じって、登山隊の大切な任務を果敢に引き受ける姿は、どれだけ私たち同世代を勇気づけたことでしょうか。

高度順化をどのようにして克服したのか。ルートを切り開く若い隊員たちをどのようにサポートできたのか。百戦錬磨の重廣隊長の冷静な判断と決断が基底にあるのは無論ですが、老壮青、長い間の訓練や固いチームワークに結ばれたすべての隊員たちの頂への執念が幸運を呼んだのではないのでしょうか。6209mのナンガマリⅡ峰、2016年秋。忘れえぬ思い出を残してくれたことでしょうか。隊員諸兄の詳細な報告を楽しみにしています。

## 東ネパール登山隊の帰国を迎えて

松村竹次郎

今や今やと待ちわびる出迎え組の前に11時23分、関西空港国際線到着口へ笑顔の竹中隊員がまず現れ、次々に満面に笑みをたたえた隊員が通過。迎える側にも笑顔があふれ、あちこちで肩をたたきあう光景が見られた感動の瞬間でした。

ヒマラヤ登山の次世代への継承を目指す重廣隊長の思いを受け、隊員たちはこれからの人生に大きな経験を得られ、指導者の道へ進んで行かれることと思います。困難を克服し、目的を達成された皆さんの無事の帰国、おめでとうございます。

無事に帰られた皆さんの笑顔が私にも伝わり、おもわず目頭が熱くなりました。

(2016年11月8日 関西国際空港にて)

## 留守本部を務めて

辻 和雄

ナンガマリⅡ峰初登頂おめでとうございます。

東ネパール登山隊出発にあたり、日本留守本部および緊急連絡網を編成し、現地からの情報を関西支部委員・評議員・隊員家族・JAC本部ならびにアシックス社へ速やかな連絡と対応を図れるようにしました。

9月9日の登山隊出発時には共同通信社に情報提供し、全国に配信されました。出発後の情報は、無料通信が可能な地域では、送信されてきた「ヒマラヤ通信」を緊急連絡網に従い速やかな情報伝達を行うと共に、アシックス社の協力を得てアウトドアブランド・ホグロフスのHP上に「ヒマラヤ通信」と「写真」を掲載していただき、関西支部員を含め、一般の皆さんにも現地の様子を伝えていただきました。

BCに近づくにつれ、通信費の関係で「ヒマラヤ通信」の送信頻度が少なくなる中、10月7日夜に突然カトマンズのコスモトレック(現地旅行代理店)より「隊員2名不調によりヘリで下山するので海外旅行保険の保険証番号と保険会社の連絡先を教えてください」との電話があり慌てました。

10月18日午後8時過ぎに重廣隊長より昨日登頂した旨の衛星電話があり、留守本部メンバーおよび共同通信社に連絡し、翌日各紙に掲載されました。

登山隊は11月8日に無事関空に到着し、関西支部の皆さんに迎えられると共にマスコミ各社の取材を受けました。

また日本山岳会本部への報告後、12月3日の晚餐会での遠征報告の要請を受けています。



双耳峰のコルから頂上へ(後方はI峰) 写真提供: 重廣恒夫



# 支部山行報告

## 支部山行16-11 熊野古道伊勢路シリーズ1 伊勢神宮から宮川

岩崎しのぶ

7月27日(水)晴

伊勢神宮から熊野速玉大社までを歩く新企画で、今回は唯一の日帰りコースだ。

神社仏閣に造詣の深い森澤氏の先導で、近鉄五十鈴川駅をスタート。容赦なく照り付ける陽射しの中、内宮を目指す。鳥居をくぐった途端に厳かな気分になる。五十鈴川に手を浸し内宮に参拝。内宮・外宮共に私幣禁断で賽銭箱は無い。感謝のみだそうだ。休憩所で昼食を済ませ、おかげ横丁の賑わいを横目に古市街道へと向かう。

ここは日本三大遊郭の一つだったが、往時の面影は無い。資料館を見学し麻吉旅館を外から見学。かなり大きな旅館で、昔の繁栄ぶりが偲ばれる。火除橋を渡り外宮参拝。土宮横で休憩しつつ森澤氏より伊勢神宮の歴史や今後の行程についての説明を聞く。

大杉谷を源流とする宮川の岸に到着。猛暑により宮川から田丸は取りやめて近鉄伊勢市駅へ折り返す。

今回は田丸からの出発となる。暑さと舗装道の長歩きにもめげず全員完歩。帰途につく。



いよいよスタート 伊勢神宮にて 写真提供：魚津清和

### 【コースタイム】

近鉄五十鈴川駅10:44—11:41内宮12:33—13:20資料館—14:21外宮—15:50宮川—16:39 近鉄伊勢市駅

### 【参加者】

久保和恵 森澤義信 山内幸子 新本政子 岩崎しのぶ  
魚津清和 浦上芳啓 岡田輝子 金井健二 黒田守彦  
戸島泰三郎 中川委紀子 野村哲夫 広瀬健三 松上美代子  
宗實二郎 宗實慶子 (会友)浅田博三 岐部明弘

黒岩敦子 田中アキエ 蓮川博凡 播戸日出夫 横山規江  
計24名

## 支部山行16-18 関西支部県境縦走44 冷水山～石地力山～五大尊岳～切畑辻

新本政子

8月7日(日)晴

紀伊田辺駅からきっかり1時間半、龍神本宮林道の果無橋でタクシーを返し、急登に一端ぎして稜線に復帰し冷水山に至る。

整備された果無縦走路には水場の案内標識が冷水山の前後にあった。県境復帰後は暑さに閉口しながら進むことしばし、カヤノダンの手前で熊の唸り声を聞いてびっくりする。侵入者への威嚇だろうが、笛や大声で対応し事なきを得た。その後も我々に向かって走ってきた二匹のテンヤ、行く手を遮る鹿にも驚かされる。

公門谷の頭よりネットが現れ、水源林の60年間の借地契約が記された標識があった。クサギ、リョウブの花やブナやヒメシャラの美林に疲れを癒されながらミヨウガタワ、ブナ平へと進む。源助の墓の案内板を見て間もなく百前森山の分岐・ブナの平を過ぎて県境を離脱し、地石力山から果無山を踏み果無峠に下る。峠には宝篋印塔・西国三十三ヶ所観音霊場17番千手観音像が祀られている。

峠から熊野古道小辺路を辿る。二十丁石・三十丁石・観音石仏像を数えながら、八木尾への分岐で小辺路と別れ七色へと向かう。集落手前で取水後、疲れ果てた汗だくの体を冷たい川の水で拭いた。

鹿淵の吊橋を渡り廃屋の庭先にテントを張った。月も星も美しくほっと眠りについて間もなく、ナント！顔の上をムカデが這い回り大騒ぎ。真夜中のムカデ退治となり、昼間にも増しても大汗をかくこととなった。

8月8日(月)晴

3時起床。昨夜の一騒ぎですっかり寝不足の身体に急登は辛い。1時間後県境復帰、今日もひたすら登りではじまった。

切畑分岐を過ぎ三等三角点・峰山で記念写真。今日の行程はシャクナゲが多く見られるが、兎に角樹林の内は陽射しを遮ってくれるのありがたい。大森山を前にして暑さにうんざりしていたが、時間切れで切畑辻から熊野奥駆修験道を上切原へと下ることとなる。五大尊北峰・



南峰と越え、途中アンザイレンして六道ノ辻へと下る。奥駆道と別れてからは等高線に沿って上切原を目指す。道は荒れていて足元に注意を払いながらの行程となる。4年前の台風により大規模な土石流の工事現場も無事通過して上切原へ。

田辺住民バス停傍の栗山酒店前の木陰で新宮からのタクシーを待った。熊野川は今夏の暑さに干上がっていたが、女店主の60年前の嫁入りは船で移動したという。



石地力山の頂上にて 写真提供：重廣恒夫

【コースタイム】

7日 果無橋07:58—08:32冷水山—09:26カヤノダン—10:41公門崩の頭—11:46ミョウガタワー—13:19ブナの平—13:53石地力山—14:52果無峠—18:04鹿淵

8日 鹿淵04:47—07:36峰山—09:10P738—10:10切畑辻—11:12五大尊岳北峰—11:30五大尊岳南峰—13:09六道ノ辻—14:55上切原

【参加者】

重廣恒夫 山内幸子 黒田記代 新本政子 計4名

支部山行16-19 4000山グランプリ  
鶴松森～不入山～天狗の森～横倉山

森山宏昭

8月20日(土)晴

乗用車二台に分乗し、一路、高知県津野町を目指す。四万十源流センター・せいらんの里の少し先で「鶴松森」の標識に従い右折、更に狭い林道に入って行く。まだ朝とはいえ降り注ぐ日差しは厳しく、肌が痛い程だ。踏み跡のない荒れた林道を、蟬時雨を浴びながら、苦行のように登っていく。林道終点から登山道に入る。手入れがなされていない人工林の中は風が通らず蒸し暑い。踏み跡に従い、一登りで、山頂に着いた。鶴松森の山頂は南側だけ展望が開けていた。駐車地点に戻ると、今井会員が会友3人と休憩中であつた。これから鶴松森に登るといふ彼らと別れて、私たちは次の不入山へ向かった。

林道ゲートには柵があり、車は入れない。林道入口に駐車し、ゲートから歩き出す。鶴松森から下山し、林道を歩いている頃から、体調が優れない。胃がむかつき、ともすれば吐き気を催す。暑さの為か？水分補給はしっかりしたつもりであるが、「四万十川源流のモミ」の案内表示板の前で、不入山登山を断念した。午後4時過ぎ、不入山から下山してきた一行とともに宿舎へ向かう。

8月21日(日)晴

5時起床、準備を整え、本日の一座目天狗の森を目指して出発。標高1300mを超える高原を時折吹き抜ける風は、昼間の灼熱からは想像できない程爽やかである。たなびく雲海の向こうには立ち並ぶ風車、鶴松森と不入山が向き合っている。高原の冷涼な大気の中、ゆっくりと高度を上げていく。天狗の森に到着。下山後朝食を摂り、当初予定していなかった源氏ヶ駄馬に立ち寄った。東西25kmに広がるカルスト台地には、大きくうねりながら草原が広がっている。その中をスカイラインが延びており、源氏ヶ駄馬山頂の至近の距離まで車を乗り入れた。山頂には、奥四国カルスト大師が祀られている大空海山幸福寺がある。先を急ぐ私たちは本日三座目の横倉山を目指す。標高800mの横倉山の山頂には、安徳天皇を祀る横倉宮が建立されており、ここは平家の落人伝説に彩られた山である。鬱蒼とした杉林の中、一登りで山頂に着いた。社殿の裏には「馬鹿試し」と言われる断崖絶壁の岩場がある。岩場は灼熱の太陽が降り注ぎ、焼けて痛いく



横倉山「馬鹿だめし」の岩場 写真提供：重廣恒夫

らいだ。絶壁をのぞき込むと、下から生暖かい風が上がってくる。社の前の木陰で昼食を済まし、駐車場へ風の通らない森の中を降りていき、その後、高速道路を一路徳島へ車を走らせた。

【コースタイム】

20日 鶴松森林道駐車地08:30—09:48林道終点—10:40鶴松森11:00—11:23風力発電取付道—12:03駐車地＝不入山林道登山口12:30—13:26東尾根コース分岐—14:33太郎坊檜—14:59不入山—16:44不入山駐車場

21日 天狗荘05:50—06:25天狗の森6:35—07:36天狗荘＝

源氏駄馬駐車地09:05—09:14源氏ヶ駄馬—09:25駐車地＝  
横倉山第2駐車場11:55—12:24杉原神社—13:21横倉宮—  
13:48駐車場

### 【参加者】

重廣恒夫 村田かおり 橋本圭之輔 松村竹次郎 松村  
文子(関西支部5名) 尾野益大 小林京子 森山宏昭  
(四国支部3名) 計8名

## 支部山行16-20 熊野古道伊勢路シリーズ2 JR田丸駅から新宮前橋

黒田守彦

第2回目の熊野古道伊勢路シリーズは、貸し切りバスによる一泊二日の行程である。第1回のコースタイムを考慮して、歩行ペースを1時間2.4km(すなわち40m/s)に変更・スローダウンすることになった。又、旧道が無くなっているところ、街道が県道・国道に代わり歩道も無く歴史的な街道遺跡も無いところは省略し(例：宮川の渡しからJR田丸駅間)、その区間はバスで辿ることとなった。

### 8月24日(水) 晴時々曇

梅田ダイワハウス前から貸し切りバスで出発。近鉄天理駅で奈良組をピックアップして田丸城跡着。すぐに初瀬街道と熊野古道の分岐点で石柱の標識があり、ここから熊野古道に入った。順礼道引観音で昼食。女鬼峠で小憩。石墨千枚岩を掘り割った切り通し道で如意輪観音像と名号碑がある。柳原観音千福寺付近で体調不良者はバスに乗る。阿弥陀寺の手前で合流し全員バスで三瀬砦跡に寄り、JR三瀬谷駅前の萬栄旅館に到着。

### 8月25日(木) 晴時々曇

バスで三瀬坂登り口へ、歩行開始。三瀬坂峠で休憩。峠手前から山蛭被害が始まる。国道出合で山蛭被害続出し、全員で応急処置を行った。瀧原宮は伊勢神宮(内宮)の別宮で境内散策、集合写真を撮る。阿曾観音堂まで歩



木陰で涼をとってほっと一息 写真撮影：魚津清和

いて休憩となったが、蛭がまだいるようですっきりせず、リーダーが全員に諮って歩行は終了。行程の残り寶蔵寺から新宮前橋と次回スタート地の荷坂峠までバスで下見する。大紀町阿曾温泉にて「検査入浴?」と昼食。入浴して漸くすっきりした。道の駅「奥伊勢木つつ木館」で買物し、近鉄天理駅を經由して梅田ダイワハウス前で解散した。

### 【コースタイム】

24日 大阪・梅田07:00(バス)田丸城跡10:41—11:38東外城田神社—11:56順礼道引観音12:30—13:52女鬼峠—15:12柳原観音千福寺—16:18歩行終了(バス)17:04JR三瀬谷駅前

25日 旅館07:30(バス)三瀬坂登り口07:48—08:20三瀬坂峠—08:48国道出合—09:22瀧原宮10:08—11:28阿曾観音堂(バス)17:45大阪・梅田

### 【参加者】

久保和恵 森沢義信 新本政子 魚津清和 黒田守彦  
戸島泰三郎 中川委紀子 野村哲夫 松村文子 宗實二  
郎 宗實慶子(会友)浅田博三 岐部明弘 黒岩敦子  
小林三喜男 田中アキエ 蓮川博凡 播戸日出生 横山  
規江 計19名

## 支部山行16-21 しっかり歩こう

## 北摂 歌垣山から妙見奥の院・妙見山・天台山コース

水谷 透

### 9月11日(日)晴

長距離を歩くには遅い集合時間だと思っていたら、バスの便が少なく、この時間しかないのだった。

歌垣山登山口のバス停から谷沿いに登り、歌垣山の北峰(男山)と南峰(女山)の間に登り着く。北峰は公園として整備されており、歌碑や石碑がある。三角点は南峰に四つの大きな扇形の大理石に囲まれてあった。ここは「おおさか環状自然歩道」として整備された歩きやすい道で、堀越峠も過ぎてあつという間に妙見奥の院に着く。歩き始めて大して時間も経っていないが、ここで昼食。昼食後、一名離脱。

野間大原の里では道を間違えそうになったが、地元の人に教えていただき、妙見山への階段を登る。ここが本日最大の急傾斜かも知れない。境内に近づくにつれ人が増え、ここは観光地だったと気付かされる。本殿前で休憩後、三角点へ。何度か訪れてはいるのだが、三角点を確認した覚えはない。たぶん、今日が初めてだ。



二等三角点歌垣山 写真提供：前田正彰

ここで下山する人3名あり、残った6名で光明山を目指す。ここからは道路歩きから山道歩きになり山の中へ入った気がし、歩くのも楽しくなってきた。光明

山を通過し、天台山まではリーダーの記憶に頼って順調に通過した。独標480mの手前で尾根を南に向かい、青貝山に近くなったところで道が急に下り始め、「おかしいのでは？」と行きつ戻りもしたが、空が薄暗くなり始めたころ青貝山に到着。

「あとはときわ台駅まで」と気軽に思ったのが間違いだった。道路に降り立ったところで、登り方向に妙見口駅の道標があったので、ときわ台駅は当然下り方向と思い歩き出した。ところが、登り方向の小さな峠を越えて、街中を抜けるのが近道だったのだが、我々は三角形の二辺を歩く格好になり駅に着いた時にはとっぷり日が暮れていた。最後の最後に、「地図をよく確認しよう」と思い知らされた山行でした。

**【コースタイム】**

歌垣山登山口10:25—11:10北峰—11:17南峰—12:05妙見奥ノ院12:20—14:50妙見山—15:30光明山—15:50天台山—17:12青貝山—18:30ときわ台駅

**【参加者】**

山内幸子 小黒節郎 久保和恵 橋本圭之輔 前田正彰  
水谷透 宗實二郎 (会友)青木昭 黒岩敦子 若林朋世  
合計10名

山崎蒸留所を望み、名神高速道の高架を抜けると落差30mほどの水無瀬の滝に到着。隣接する大動脈名神と静寂な滝の異なった光景がアンバランスに感じた。朝から蒸し暑く、体温が上昇した身体に滝のひんやりとした空気が漂って憩いのパワースポットを提供してくれた。滝を後に、舗装された広い道を急登すると整備された竹林が現れた。気温上昇と無風状態が重なり一層蒸し暑さも相まって汗が滴り、何回も水分補給休憩を繰り返す。竹林を過ぎると明るい雑木林の尾根道になり、木の根が這う細い尾根道になり十方山304mに到着。三角点で記念写真を撮る。名前の由来となった「十方が見晴せる」とは名ばかり！雑木林に囲まれ何も見えず期待外れだった。

木漏れ日のさす緩やかな尾根を進み、城跡分岐点を左折した展望広場で眼下に淀競馬場、小倉方面を眺める。再び分岐点に戻り、なだらかな道を進むと天王山山頂270mに到着。十方山同様、山頂からの眺望は望めず。下りは天王山の由来となった酒解神社、歴史に名を馳せた天下分け目の合戦場、禁門の変で敗れた長州藩17士自刃の墓などあり、歴史好きな人にはゴールデンルートで時間を割きたいが、時間の都合でパス。麓に近くなるにつれ舗装された急坂になり、潇洒なアサヒビール大山崎美術館もパス。JRの踏切を渡り阪急大山崎駅から一駅乗って西山天王山駅へ。サントリー長岡京工場行のバスに乗換え、清潔な工場を見学して待望のビール試飲。僅か15分間であったが出来立てのビールを堪能した。粋な計らいを計画して頂いたリーダーに感謝します。

**【コースタイム】**

阪急水無瀬駅09:50—10:45水無瀬の滝—12:10十方山12:45—13:07展望広場—13:34天王山—14:21阪急大山崎駅

**【参加者】**

久保和恵 山内幸子 魚津清和 上田典子 浦上芳啓  
岡田輝子 薦田佳一 阪下幸一 嶋岡章 戸島泰三郎  
野口恒雄 秦康夫 平井一正 前田正彰 水谷透 宗實

支部山行16-22 ゆるやか山行【里山探訪】  
歴史と文化を訪ねる35  
北摂 十方山から天王山  
小林三喜男

9月15日(木)晴

阪急水無瀬駅に集合。住宅街を抜け水無瀬神宮の広場で恒例の準備体操を行なう。境内にある名水百選「離宮の水」に近在の方が数人水を求めに並んでいた。大鳥居を抜け暫く歩き水無瀬川に辿り着く。山手にサントリー



奥の山展望広場にて 写真提供：魚津清和

慶子 森沢義信 山下政一 (会友)秋月修次 岐部明弘  
小林三喜男 田中アキエ 中田栄 横山規江 計24名

支部山行16-25 しっかり歩こう

## 丹生山系 シビレ山～帝釈山～稚子ヶ墓山

小黑節郎

10月23日(日)曇

神戸電鉄有馬線箕谷駅集合後、バスで衝原湖へ。サイクリング道をしばらく歩き湖畔の登山口よりスタート。地図読み勉強中の若林さんを先頭に沢筋を登る。スタートから約1時間で尾根道に合流。ここからはっきりとわかりやすい登山道を進む。途中マウンテンバイクの人とすれ違いびっくり！帰宅後ホームページを見たら岩屋峠～帝釈山～シビレ山～道の駅淡河のルートで走破しているレポートがある。いろんな山の楽しみ方があるものだ。

シビレ山山頂を経て順調に縦走路を進む。先を急ぐので丹生山山頂には寄らずに帝釈山を目指す。本日の最高峰585.9mの帝釈山山頂からは展望がよく、衝原湖・瀬戸内海などが見渡せる。昼食で栄養補給し、先の長丁場に備える。ここから高度を下げR428の岩屋峠南に出る。しばらく南下して車道と別れ池脇の登山口から稚子ヶ墓山を目指す。山名は戦国時代の悲劇に由来とのこと、山頂で合掌。沢筋の道から歩きやすい尾根道を経て花折山。爽やかな風を受けながらしばらく下ると兵庫CC脇に出て車道を進む。「来週ゴルフにいこうかな」などと考えながら歩いて、最後のピーク金剛童子山の登山道に入る。10分強の登りで山頂到着。

残るは大池駅への下りだけだとほっとしていたら、こ



稚児ヶ墓山にて 写真提供：前田正彰

こからが予想外に苦戦。途中の黒甲越の道がモトクロスバイクで大きくえぐられた泥道で、歩きにくく閉口。ようやく歩きやすい道に出て、夕日を望む鉄塔下でヘッドランプを準備。最後は真っ暗の中を下山し大池駅で解散。駅前では有志4名が適度な疲労感と満足感を味わいながら乾杯！本日の総歩行数34,343歩(自宅 to 自宅)しっかり歩いた。

関西支部転籍後2回目の参加ですが、還暦の私は本日参加10名の中若手三番目(初参加の阪上氏が二番目)、諸先輩の元気さに圧倒された一日でした。

### 【コースタイム】

衝原湖サイクリングターミナル09:22—09:38登山口—11:10シビレ山—12:25帝釈山12:50—13:38岩谷峠—14:40稚子ヶ墓山—15:35花折山—16:23金剛童子山—17:50天下辻—18:10大池駅

### 【参加者】

山内幸子 久保和恵 野口恒雄 橋本圭之輔 前田正彰  
宗實二郎 小黑節郎 (会友)黒岩敦子 若林朋世 (準  
会員申請中)阪上茂生 合計10名

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告(7月～9月)

秦 康夫

2016年7月7日(木)9:30～15:30

前月に続く44林班「は」地区の林床整備作業だが、作業地が谷筋に近づくに連れ傾斜が急になってきて、足場も不安定になる。また、樹木の密度も濃くなり、上部では枝が絡まりあっている上に太い蔓(つる)も巻きついており、見るからに掛かり木になりそうな感じである。予め高枝鋸で、引っ掛かりそうな枝を切り落としてから伐倒作業に取り掛かるなど、慎重に作業をしたつもりだが、それでも3回程、非常に厄介な掛かり木になった。幹回し機やシュリンゲ、テコなど動員してやっと処理したも

の、かなりの時間と手間を費やしてしまい、今日は作業効率の悪い1日だった。

【作業参加者】 石原順子 斧田一陽 河野直子 武田壽夫 中村賢三 秦康夫 宮本廣 計7名

2016年8月7日(日)9:30～14:30

前回(7/17)雨天中止の振替日だったが、作業参加者が2名と少なかった。第二物置設置予定地の整地と周辺の邪魔になる木の伐木をしたあと、作業を早めに切り上げて下山し、物置の発注に向かった。

【作業参加者】 斧田一陽 石原順子 計2名

2016年8月11日(木)9:30~13:00

作業用具が増えてきたので、現在の物置の対面に第二の物置を増設することになっている。土地は既に整地済なので、今日は基礎工事として四隅に穴を掘り、25cm四方のコンクリート製升口を埋め込むことにした。これにセメントを流し込んで、物置小屋の四隅の柱を固定する予定である。

地面の土はあまり固くはないが、地中の至るところに樹木の根が張っており、穴掘り前の作業として木の根切りが大変だった。四隅に穴を掘ってバラスト(碎石)を敷き詰めた上に、升口を埋め込み、水準器で水平度を調整した。次に四隅・四ヶ所の升口相互間の高度を同一水準にする必要がある。レーザーポインター付き水準器という便利な器具があり、お互いの水平度が簡単にチェックできる。測定してみるとけっこう高低差が出てきたので、穴を掘り直したり、碎石を追加したり、何度も埋め込み作業をやり直して高さを調整し、12時半頃、やっと基礎工事を終えた。今日の作業はこれで打ち切り、午後は昼食を兼ねて今後の作業予定等を話し合う納涼懇談会ということにした。

【作業参加者】 斧田一陽 武田壽夫 秦康夫 宮本廣 茂木完治 計5名

2016年8月21日(日)9:30~17:30

前回で基礎工事は済んでおり、今日はいよいよ物置の組み立てである。

2名がホームセンターより資材を運搬する。8名は到着までの時間、2班に分かれ、1班は45林班「に」地区、物置南斜面の枯損木・常緑樹の除伐、他の1班は、基礎をチェックして升口間の距離調整、水平度の確認及び調整を行った。

資材到着後、全員が参加して組立作業を開始した。まず四辺に土台を作って四隅に支柱を立て、左右の側面及び背面の壁を取り付ける。前面の扉部分を嵌め込み、床板を敷く。最後に屋根をセットして一応完成した。第一物置設置の際は、最後に扉がズレてうまく嵌らず、やり直して苦労したが、今回は基礎工事をきちんとしたのと、組み立て作業も、指揮官を一人定めて指示通り、また取扱説明書の順序通り忠実に作業を進めたので、途中大きな失敗もなく順調に仕上がった。時間が大分遅くなったが、最後の仕上げに内部の棚も全部取り付けて、四隅の升口に碎石とセメントと水を流し込み、これで第一物置

と向かい合わせの形で、第二物置は完成した。

なお、帰り際に気が付いたのだが、南方面の樹間から梅田の高層ビル群がはっきり遠望できるようになっていた。南斜面の除伐を進めたお陰だが、あと少し、適度の除伐をすれば、あべのハルカスも見えるようになるかも知れない。

【作業参加者】 斧田一陽 猪川誠 小櫃徹夫 黒山泰弘 薦田佳一 阪下幸一 武田壽夫 秦康夫 丸山喜代司 宮本廣 計10名

2016年9月1日(木)9:30~16:30

干害防備保安林の南、44林班「は」地区は、ヒノキの植林帯にヒサカキやツバキ、ソヨゴなどの常緑樹が繁茂する薄暗い林間だった。6月から3回の作業で東海自然歩道沿いの尾根筋近辺はかなり明るくなったが、谷筋近くには白いテープを目印に付けてある要伐採木がまだかなり残っている。今日は、未処理の要伐採木をできるだけ片付けることにし、4人と3人の2班に分かれて作業した。

谷筋近くの急斜面で足場が悪い。また枯損木と云えどもけっこう太いのが多かったので伐木に時間が掛かり、谷近くを担当した3人の男性班は、午前・午後で10本程度しか処理出来なかったが、尾根筋を担当した女性3名を含む4人組は、比較的細い木が多かったせいもあるが、女性陣の活躍で作業が捗り、15~6本程度の要伐採木を処理できたようだ。作業後の林間を見渡してみると、作業前に比べ明らかに明るくなっていた。

除伐作業後、物置設置場所へ戻り、全員で新旧の物置に収納する用具類の仕分けと、物置の周囲に水捌けのための溝掘り作業等をしたため、作業終了時間が遅くなった。

【作業参加者】 斧田一陽 小櫃徹夫 武田壽夫 秦康夫 河野直子 石原順子 後藤和子 計7名

## 割引販売のお知らせ

大阪府山岳連盟所属会員を対象にIBS石井スポーツ「大阪本店」、「ダイエー神戸三宮駅前店」の2店舗で割引制度を実施。不明な点は店頭で問合せのこと。

店頭価格から10%の割引(割引セール期間外も適用)

他割引との重複使用・商品の取り寄せ後のキャンセル不可

一部商品を除く

※要会員登録。

## 楽しい藤木祭

桑田 結

平成28年10月2日(日)午後1時より、芦屋・高座の滝前広場で第27回藤木祭が開催されました。10月というのに大変蒸し暑い日でした。

ハイキング班は、朝の8時半に阪急岡本駅北側、桜守公園に50余名が集合し、八幡谷から水平道、金鳥山、風吹岩のコースを、汗をかきながら歩いて高座の滝に到着しました。

式典は開会挨拶の後、主催者を代表して金井支部長より、本年度の注目点「山の日」の話、マナスル登頂記念の話などがありました。来賓の山中芦屋市長より、山の安全を求める挨拶をいただきました。本年度のスピーカーは、六甲山の守り神とも云える神戸市建設局森林整備事務所の道木所長です。六甲山の現状は、緑化というよ

りも間伐、枝打ちなどの保全が大変だという話から、ハイキングコースの整備、そして今一番なのが六甲山系の防災対策であるという話でした。

引き続き、藤木摩耶子さんより藤木九三さんの短歌朗詠、藤木高嶺さんの青春時代の山暮らしのお話をいただきました。

そして、新しく作られた山の日の歌「山・美しき」をアシヤユースコーラスの皆さまの指導で練習し、全員で歌い上げました。引き続きなつかしの歌も大合唱し、青春の日々を思い出す一時となりました。あつという間を過ごし、中村大阪府山岳連盟会長の挨拶、乾杯でお開きとなりました。

関係者の高齢化が進む中で若い人たちがしっかりと行事を引き継いでいるのを実感した楽しい一時でした。来年は10月1日です。又、お会いしましょう。

## 第27回 記念藤木祭 会計報告

【収入の部】		【支出の部】	
藤木高嶺様より	10,000円	コーラス御礼	20,000円
藤木祥治様(福知山)より	10,000円	演者謝礼<演者ご辞退>	0円
ご親族野村寛・康様より	10,000円	印刷代	17,280円
<拠出金>兵庫県山岳連盟	40,000円	通信費 チラシ送料 切手代	2,420円
大阪府山岳連盟	40,000円	コピー代 歌詞@5×120枚	600円
日本山岳会関西支部	40,000円	C D 山の日」の歌3枚	3,900円
<雑収入>利息	12円	保険料 記念山行参加54名×@40	2,160円
前期繰越金	139,788円	大谷茶屋支払	27,640円
		大谷茶屋御礼	10,000円
		おにぎり代 40個	4,520円
		雑費 打合諸費・乾電池等	4,786円
		小計	93,306円
		次期繰越金	196,494円
合計	289,800円	合計	289,800円

備考：斉藤氏のご厚意により  
スピーカー無料借用

平成28年10月3日 藤木祭実行委員会 会計 久保和恵 ㊦



## 自己紹介 (皆さんよろしく)

居谷 千春(会員番号16037)

2016年6月、金井良碩様、山田健様から紹介いただき会員とさせていただきます。101年目を迎えた神戸大学山岳会の会長を本年4月井上達男様から引継ぎましたが、山岳会のこれからの運営や自分の山登りに少しでもヒントをいただけたらと思い歳をとってからの入会となりました。

神戸大学山岳部ではあまりハードとはいえない山行歴しかありませんが、運がいいのか、1976年開放直後のカラコルムシェルピカンリ(7380m)、1986年には中国チベットクーラカンリ(7554m)の初登頂メンバーになることができました。2014～15年にはニエンチェンラ山群の未登の山を目指しましたが若いメンバーとはペースが合わず年寄りの出番はあまりありませんでした。今でも未登の山、未踏の地への強い憧れはありますが、身体も

思うように動きませんし、先輩方からは「若い人をのぼらせなあかん」といわれています。

1950年大阪生まれ、その年にフランス隊がアンナプルナの初登頂を達成してから、各国が国威をかけて次々に8000m峰をおとして行きました。そして幼稚園の最後の年には日本隊がマナスルの登頂に成功しています。そういう時期だけに、幼稚園でもなんとアムンゼンとスコットの南極探検の紙芝居もされていたことを思い出します。そんな時代なので、家には「南極に行った猫」なんて本もありました。夜、小学校の校庭で映された映画は、多分ヘディンとかヤングハズバンドの記録映画だったんじゃないかと思います。8000メートルの未登峰がなくなり、7000メートルの未登の山も数える程度になりました。しかし高度を少し妥協すれば、まだまだ世界中には未登峰は多く、日本中にも面白そうな山や場所、登り方、歩き方はたくさんありそうです。

会社を2回も休職してヒマラヤに行った後、「そんなに山が好きなら、《岡山の津山》にいくか？」と飛ばされたのが27～8年程前でしたが、ここは日曜日の午後3時頃からでも車で少し走り、峠に車を置いて走るとすぐ鳥

取・岡山県境の山に行けました。「分水嶺にこだわったらまだまだ面白いね」と秘かにテーマ化していたらその後JACがみるみる日本中をやってしまいました。チベットの4000～5000mのヤクが草を食む丸っこい山やまも歩きだしたら無名でもこれがまた面白い。それなりのテーマを持てばまだまだ楽しめそうです。どうぞよろしくお願いいたします。（いたに・ちはる 2016/10/18受）

小黑 節郎(会員番号14331)

この度転籍にて関西支部に入会致しました。5月に還暦となり味の素ゼネラルフーズ社を定年退職、転勤生活にピリオドを打ちました。今後は大阪定住にて登山とスキーとゴルフに打ち込もうと考えております。新潟県長岡市生まれ、三条高校～立教大学で山岳部に所属し若い時は春夏秋冬登山に熱中しました。現在は、体力・技術ともに下降するばかりですが情熱は持ち続けたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

(おぐろ・せつろう 2016/10/25受)

## Room日録 2016年

8月2日(火) 壮行会準備  
 3日(水) 募金委員会  
 4日(木) 第19回ヒマラヤ塾  
 5日(木) 海外登山隊作業  
 11日(木) 80周年募金事務  
 18日(木) 80周年募金事務  
 19日(金) 海外登山書類作成  
 22日(月) 支部委員長会議  
 27日(土) 80周年募金事務  
 30日(火) 会計事務

9月3日(土) 第20回ヒマラヤ塾  
 5日(月) 80周年募金事務  
 8日(木) 第21回ヒマラヤ塾  
 9日(金) 支部事務業務  
 14日(水) 支部報発送  
 水曜会  
 17日(土) 支部事務業務  
 21日(水) 登山教室打合せ  
 24日(土) 支部事務業務  
 25日(日) 会長・副会長・  
 常務理事来室  
 26日(月) 図書委員会

28日(水) 80周年募金事務  
 30日(金) 支部事務業務  
 10月7日(水) 支部事務業務  
 10日(月) 入会希望者面談  
 12日(水) 水曜会  
 19日(水) 広報委員会  
 図書委員会  
 委員長会議  
 21日(金) 支部事務業務  
 28日(金) 規約改正PJ

## 受贈一覧

(2016.8.1~10.31受理分)

京都府山岳総覧：京都府339山案内  
 内田嘉弘・竹内康行 ナカニシヤ出版 [寄贈・内田嘉弘氏]  
 山岳大阪 No.210(別冊共) 大阪府山岳連盟  
 山嶽寮：甲南山岳会通信 第71号  
 登山月報 第570号 日本山岳協会  
 年次報告書2015 日本山岳会東京多摩支部  
 兵庫山岳 第590, 592号 兵庫県山岳連盟  
 山が泣いている：平成28年熊本地震の記録(熊本支部通信2016年6月号)  
 日本山岳会支部報  
 ・秋田山岳 No.101, 102

- ・千葉支部だより 第36号
- ・[東京] たま通信 第25号
- ・富山支部会報 No.103
- ・信濃支部報 第63号
- ・岐阜山岳 第80号
- ・東海支部報 No.147
- ・[京都・滋賀]支部だより No.124
- ・JAC Hiroshima 第61号
- ・JAC北九だより No.77, 78
- ・熊本支部報 第37, 38号
- ・東九州支部報 第75号
- ・宮崎支部報 第58号

※発行者による寄贈の場合、寄贈者名表示を省略





## スケッチ同好会 例会の報告とご案内

### 第15回 【案内】

日時 平成29年1月16日(月) 10:00~15:00  
 集合 能勢電鉄妙見口駅前 10時  
 行先 妙見口周辺と吉川神社  
 申込み 平成29年1月8日(日)迄 河野直子  
 e-mail: yamashakuyaku2352@pango-pango.com  
 携帯 090-6960-9998 / naokoski.701@docomo.ne.jp

### 第16回 【案内】

日時 平成29年3月6日(月) 10:00~15:00  
 集合 近鉄当麻寺駅改札口前 10時  
 行先 当麻寺 奥池周辺  
 申込み 2月27日(月)迄 岩崎しのぶ  
 e-mail: sinobunr4822@nike.eonet.ne.jp  
 Tel・Fax 0743-74-2259

※詳細は参加者に連絡 小雨決行

持ち物(水彩画を主とする画材一式、カメラ、弁当、飲み物、折り畳み椅子、傘等)

### 【報告】 第13回

日時 平成28年9月12日(月) 10:00~15:00  
 行先 京都府立植物園  
 【参加者】 野村哲夫 浦上芳啓 大塚和子 岡田輝子 金井良碩 久保和恵 薦田佳一 秦康夫 播戸日出生 松上美代子 松村文子 森沢義信 横山規江 計13名



京都府立植物園より比叡山を臨む 画：岡田輝子

## 2016年度1月~3月 支部山行計画

※申込先は、後のリストを参照してください【いずれも締切厳守】

### 16-35 陽だまり山行 播磨の山

「黍田富士166mと山上古墳めぐり」

日時：1月6日(金)

集合：JR山陽本線 竜野駅 9時30分

(大阪発8:00新快速 竜野着9:24)

コース：竜野駅—ヤッホの森登山口—黍田富士—金剛山—△山津屋—亀石—どんぐり広場—竜野駅

地図：2.5万分の1「網干」

備考：黍田富士山塊には40を越す古墳があり山上古墳群を歩く 少雨決行 歩行時間 約3時間 青春18切符利用可(切符販売は12月中、各自で準備のこと)

申込み：12月20日迄 山内幸子

### 16-36 しっかり歩こう 六甲全山縦走その1

「須磨浦公園鉢伏山から市ヶ原まで」

日時：1月8日(日)

集合：山陽電鉄須磨浦公園駅前 8時30分

コース：須磨浦公園—旗振山—横尾山—須磨アルプス—高取山—菊水山—市ヶ原—新神戸駅

地図：2.5万分の1「須磨」「神戸首部」

備考：六甲全山縦走路を2回に分けて歩く

歩行距離約25km 歩行時間約7.5時間

申込み：12月25日迄 山内幸子

### 16-37 4000山グランプリ

「千丈ヶ嶽(大江山)832.4m」

日時：1月14日(土)・15日(日)

コース：福知山駅—赤石ヶ岳—千丈ヶ嶽—鳩ヶ峰—鍋塚—大江山口内宮駅

地図：2.5万分の1「大江山」「内宮」

備考：詳しくは担当者に問い合わせてください

難易度の高い山 テント山行

一般参加可 山岳保険加入が必須

申込み：1月5日迄 重廣恒夫

### 16-38 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる38

「雄岡山241.2m・雌岡山249m」

日時：1月19日(木)

集合：神戸電鉄粟生線緑が丘駅改札前 10時30分

コース：緑が丘駅—雄岡山—大皿池—雌岡山—半鐘—

大皿池—緑が丘駅  
 地図：2.5万分の1「淡河」  
 備考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く  
 コースを変更する場合もあり  
 歩行距離約7km 歩行時間約3.5時間  
 申込み：1月12日迄 久保和恵

#### 16-39 レスキュー講座

「テーピング講習」  
 日時：1月28日(土) 13:00~16:00  
 集合：弁天町ORC200生涯学習センター和室  
 (弁天町下車 オーク200ビル2番街7階)  
 備考：参加人数20名まで(定員になり次第締切)  
 当日参加費(会場費等)徴収  
 持ち物等は参加者に連絡します  
 申込み：1月15日迄 山内幸子

#### 16-40 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる40

「能勢 高代寺山488m・知明山349m」  
 日時：2月9日(木)  
 集合：能勢電鉄 妙見口改札前 9時45分  
 コース：妙見口—高代寺山—一庫公園—知明山—長原  
 バス停  
 地図：2.5万分の1「妙見山」「広根」  
 備考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く  
 山行でコースを変更する場合もあります  
 歩行距離約8km 歩行時間約4.5時間  
 申込み：2月2日迄 久保和恵へ

#### 16-41 比良山系を歩く

「蛇谷ヶ峰901.7m」  
 日時：2月12日(木)  
 集合：JR近江高島駅前バス停 8時30分  
 コース：畑バス停—ボボフダ峠—蛇谷ヶ峰—富坂尾根  
 分岐—玉津島神社—富坂口バス停  
 地図：2.5万分の1「北小松」  
 備考：積雪の状況によりコース変更あり  
 歩行距離約8km 歩行時間約5.5時間  
 申込み：2月5日迄 久保和恵

#### 16-42 しっかり歩こう 六甲全山縦走その2

「市ヶ原から最高峰・塩尾寺まで」  
 日時：2月19日(日)  
 集合：新神戸駅 8時30分  
 コース：市ヶ原—摩耶山—六甲最高峰—東六甲縦走路  
 —塩尾寺—宝塚駅  
 地図：2.5万分の1「神戸首部」「有馬」「宝塚」  
 備考：予定通り歩けない場合、3月に番外実施

歩行距離約30km 歩行時間約8.5時間

申込み：2月12日迄 山内幸子

#### 16-43 4000山グランプリ

「磯砂山660.9m」  
 日時：2月25日(土)・26日(日)  
 コース：丹後大宮駅—磯砂山—岩屋峠—加悦奥峠—権  
 現山—与謝野駅  
 地図：2.5万分の1「四辻」「大江山」  
 備考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
 難易度の高い山 テント山行  
 一般参加可 山岳保険加入が必須  
 申込み：2月14日迄 重廣恒夫

#### 16-44 4000山グランプリ

「三岳山839.1m・郷路岳619.7m」  
 日時：3月18日(土)・19日(日)  
 コース：福知山駅—三岳山—三国山—江笠山—郷路岳  
 —福知山駅  
 地図：2.5万分の1「三岳山」「大江山」  
 備考：詳しくは担当者に問い合わせてください  
 難易度の高い山 テント山行  
 一般参加可 山岳保険加入が必須  
 申込み：3月8日迄 重廣恒夫

#### 16-45 ゆるやか山行【里山探訪】歴史と文化を訪ねる41

「可児市 カタクリ群生地と鳩吹山313.3m」  
 日時：3月30日(木)  
 集合：美濃太田駅改札前  
 コース：カタクリ群生地—カタクリ口—鳩吹山—カタ  
 クリ口—温泉前  
 備考：里山を歴史や文化を訪ねながらのんびり歩く  
 コースを変更する場合もあり  
 青春18切符利用で行く山行です  
 集合時刻等詳細は申込者に連絡します  
 歩行距離約5km 歩行時間約3時間  
 地図：2.5万分の1「犬山」  
 申込み：2月26日迄 久保和恵

\*\*\*

各山行は  
 担当委員もしくは支部宛にお申し込みください

e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp

ステップアップ登山教室 一般対象 募集中

3rdステップ

初級『地図とコンパスを持って北摂の山を歩く』

- 1月10日(火) 上之岳～鳥飼山～昼ヶ岳
- 2月7日(火) 海見山～柏野山
- 3月7日(火) 広照寺山～寺山～高畑山

中級『沢歩き』

- 1月19日(木) 白石谷～六甲最高峰
- 2月16日(木) 西滝ヶ谷～小川谷
- 3月16日(木) 西山谷～水晶山

上級『岩登り・沢の初歩・雪山の初歩』

- 1月24日(火) 比良・蓬莱山
- 2月21日(火) 比良・堂満岳
- 3月21日(火) 比良・蓬莱山

水曜会のご案内

- 【会 場】 支部ルーム 18:30～
- 【開催日】 1月11日(水)、2月15日(水)、3月8日(水)
- 【申 込】 開催日は変更になる事があります。参加予定者は開催前月末までに担当者宛て実施日の確認と参加連絡をお願いします。
- 担当：辻 和雄 tsuji.kazuo.b@gmail.com
- 【報 告】
- 9月14日(水) インドヒマラヤ・ストックカンリ 出席6名
- 10月12日(水) 飯豊連峰 出席12名

2017年1月～3月 自然保護行事案内

- 1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)
  - 活動日：1月5日(木)・15日(日)・2月2日(木)・12日(日)・2月19日(日)・3月2日(木)・19日(日)
- 2 東お多福山ススキ草原復元活動
  - ・3月22日(水) 早春の全面刈り
- 3 自然観察会
  - ・2月19日(日) 「本山寺山の森」の冬の自然観察ほか
- 4 やまみち巡視保全活動
  - ・1月15日(日) 「本山寺山の森」里道巡視保全
  - ・2月19日(日) 同上

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 TEL&FAX072-633-6556/090-4037-4542  
 ※締め切り：開催日の一週間前まで  
 ※集合：  
 本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前  
 東お多福山 阪急芦屋川駅前  
 いずれも午前8時40分(10分後に出発)

〈編集後記〉

☆関西支部にとっては嬉しい出来事がありました。支部80周年記念事業で派遣していたカンチェンジュンガ山群ナンガマリⅡ峰の初登頂です。登山隊の皆さんお疲れ様でした。別掲で計画されている報告会が楽しみです。  
 ☆いつまでも暑い日が続いていると思っていたら、秋は吹っ飛び一挙に冬の訪れを感じる今日この頃です。そのためか、山の黄葉・紅葉はきれいです。 [N]

発行日 2016(平成28)年12月10日  
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室  
 公益社団法人日本山岳会関西支部  
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp  
 郵便振替口座 00930-6-55950  
 発行者 金井良碩  
 編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄  
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



**Sherpa adventure gear fund**  
 シェルパアドベンチャーギアでは  
 ネパールで暮らす子供達(孤児)を支援する為に  
 「sherpa adventure gear fund」を立ち上げ、  
 売上の一部を子供達の学費として寄付しています。  
 現在は9人の子供達を「sherpa adventure gear fund」  
 で支援しており、日本での売上も1人分の学費として、  
 ネパールで頑張る子供達を支えています。

1アイテムの売り上げにつき、25セントが寄付されます。

株式会社ケンコー社  
 大阪:06-6374-2788  
 ※カタログをご請求ください!  
 Facebook 最新情報発信中!

【山旅専門の旅行会社 アルパインツアー】おすすめツアーのご案内

春の花咲くマルタ諸島ハイキングと  
世界遺産ヴァレッタ 8日間

地中海に浮かぶ小さな島国を春の花  
が咲く中ハイキングで満喫します。

【旅行期間】 2/21(火)～2/28(火)  
3/ 7(火)～3/14(火)

【旅行代金】 ¥348,000 (大阪発着) ▲ゴゾ島の美しい海岸線を歩く



グリーンストーン谷からルートバーンへ  
グランド・トラバース大縦走 11日間

全長約75kmを、6日間かけて縦  
走するグランド・トラバースは、歩  
き応えがあり、非常に変化に富んだ、  
NZ屈指のパノラマコースです。

【旅行期間】 3/5(日)～3/15(水)

【旅行代金】 ¥648,000 (大阪発着) ▲グリーンストーン谷を歩く



【大阪発着】～太平洋に浮かぶ温暖な気候の八丈島を歩く～  
八丈島・三原山と八丈富士 3日間

【出発日】 2/12(日)・3/5(日) 【旅行代金】 ¥118,000(大阪発着)

★東京の南約300kmに浮かぶ八丈島へ。三原山と八丈富士の2つの山を歩いて豊かな自然を楽しみます。

【大阪発着】～沖縄県最高峰と西表島最高峰に登頂～  
西表島トレッキングと沖縄県最高峰・於茂登岳登頂 5日間

【出発日】 2/13(月)・3/6(月) 【旅行代金】 ¥178,000(大阪発着)

★豊かな自然が残る西表島と石垣島の2つの島で、ジャングルの中のトレッキングや登山を楽しみます。



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員 ⑤ ボンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 06-6444-3033  
〒550-0003  
大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)

ナカニシヤ出版  
〒60618161  
京都市左京区一乗寺木ノ本町15

TEL 0757230111  
FAX 0757230095

表示は本体価格です。

日本山岳会 110周年記念出版



改訂新日本山岳誌  
菊判 2016頁 写真・地図多数 上製クロス装・函入り  
日本山岳会編著 18,000円

日本山岳会が脚で調査した、日本全国四〇〇〇山の最新情報を網羅した山岳百科事典を10年ぶりに改訂。地形や登山道の変化、地名変更、標高数値などを改訂。



奈良名山案内

小島誠孝ほか編著  
A5判 208頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
2,000円

奈良盆地周辺から、室生・俱利伽羅など中部の山々、世界遺産の奥高野・大峰山系・台高山系などの近畿主尾根の山脈まで172山・92コース。美しいカラー写真と地図で丁寧に案内。

世界遺産の峰めぐり



京都府山岳総覧

内田嘉弘・竹内康之編著  
A5判 272頁  
口絵カラーほか  
写真・地図多数  
2,200円

京都府の339の山を実地踏査して、登路を含めて解説。主な山には概念図・写真を加えた、京都の山には最も詳しい案内書。カラー口絵写真、標高100m以上全三角点を掲載。



大阪の山歩き100

清水 満著  
A5判 184頁  
オールカラー  
写真・地図多数  
1,800円

大阪の山々はそれぞれに歴史があり、個性に富んでいる。バスや電車を利用して家族づれで登れるコースばかり、一〇〇山、一〇〇コースを選んだウォーキングガイド。

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド

山岳雑誌 岳人

毎月15日発売

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

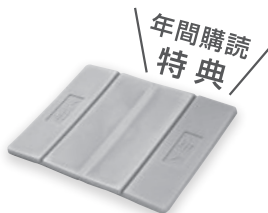
年間購読がおすすめです

購読割引 送料無料 限定品プレゼント

お得な価格で毎月お手元に冊子をお届けします。

通常価格12冊 年間購読なら12冊  
8,160円 → 7,480円  
(税込 8,812円) (税込 8,078円)

1冊分  
680円  
おトク!



座布団として使える!  
折り畳みパッドプレゼント  
サイズ:縦33×横26cm/重量:33g



特集 植村直己と日本の冒険家たち

年間購読お申し込み方法 WEB <http://www.gakujin.jp> モンベルポスト 0120-982-682 / TEL 06-6538-5797 モンベルストアでも受付中

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。